

## 緊急企画

# 情報は誰のためにあるのか

～630調査（精神保健福祉資料）の開示・非開示を巡る状況から～



日時 2019年3月29日（金）19:00～20:50（受付 18:45）

場所 キャンパスプラザ京都第3会議室

（京都府京都市下京区 西洞院通塩小路下る東塩小路町939）

講師 有我 讓慶（ありが・じょうけい）氏

（看護師・認定NPO法人大阪精神医療人権センター理事）

定員 35名（申込用紙は裏面）

※参加申込をなるべくお願いします。（当日参加も可能ですが、定員を超えた場合お断りする可能性がありますのでご容赦ください。）

参加費 京都精神保健福祉士協会会員・日本協会構成員 当事者 無料

他 ￥500

「630調査」という言葉は聞いたことはあるでしょうか。精神科医療に関わる方には聞き覚えがあると思いますが、それ以外の方にはなじみがないかもしれません。630調査とは、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課が毎年6月30日付で都道府県・指定都市に報告を依頼している調査であり、正式名称は「精神保健福祉資料」といいます。日本全国の精神科医療に関する統計であり、どのような医療が行われているのかを知ることでできる指標でもあります。

この調査に関して最近報道がありましたが、個人情報の保護を理由に、自治体が開示することを拒む流れが生まれつつあります。精神科医療の閉鎖性については以前から指摘があるなか、一般市民が精神科医療について情報を得ることを閉ざす流れは、医療を利用する立場からすれば戸惑います。

そこで、今回630調査とはどんなもので、どんなことを知ることが出来て、どう活用することができるのかを皆さんで学び考える機会を設けたいと思います。

特に相談支援事業所など地域で活動されている方々にも関心を持って頂きたいので、急な企画ですが足を運んで頂けると幸いです。（権利擁護委員会）

20190329

「情報は誰のためにあるのか～630調査（精神保健福祉資料）の開示・非開示を巡る状況から」

## 参加申込書

(頂いた情報はこの学習会のみ使用いたします。)

氏名

会員 京都精神保健福祉士協会 日本精神保健福祉士協会京都府支部

他府県精神保健福祉士協会 日本精神保健福祉士協構成員 その他

連絡先 (いずれかで結構です)

電話

mail

申込先

FAX 075-411-1020

(京都精神保健福祉士協会 事務局)

問合わせ先

京都精神保健福祉士協会 事務局

TEL 075-411-1011

MAIL [office@kyo-psw.org](mailto:office@kyo-psw.org)